

What's up,

OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分！)

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol.10》2013年12月1日発行

【ご挨拶】 大分県企画振興部国際政策課 課長 飯田 聡一

街にはイルミネーションが点り、もう12月かという気分です。皆さんはいかがでしょう。

先月末には、プロモーションで二日市副知事を団長に県内企業関係者とともに香港を訪れました。レセプション「大分県のタベ」には200名を超える来場者で、日本一の温泉など大分の魅力を伝えることができました。

これに合わせ、香港の和食レストラン「九州地獄拉麺専門店 別府」の協力で、大分の食材を使ったフェアを1月初旬まで開催中です。是非お立ち寄りください。



バックナンバーはこちら <http://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/whatsupoita.html>



大分県の海外関連事業について

海外関連事業に携わる県職員が、大分県の県外広報事業をご紹介します。ぜひ、みなさまも「おんせん県おおいた」のPRにご協力ください！



農林水産部
審議監兼漁業管理課長

日隈 邦夫
(Kunio HIGUMA)

【連絡先 (Mail)】

higuma-kunio@pref.oita.lg.jp



漁業管理課の日隈と申します。

養殖ブリは、生産量が全国3位で、大分県の水産業にとって重要な魚種となっています。

この養殖ブリは、外国での日本食ブームを背景に寿司・刺身の食材として注目され、3枚卸にされたフィレの輸出量が近年大きく伸びています。

本県の農林水産物輸出品目の中でも養殖ブリは、北米向けを中心にトップの輸出額となっていますが、当課では、輸出先としてこれまでの北米に加え、経済成長が著しいアジアやEUに目を向けています。

今年度は、8月のタイプロモーション、10月のシンガポールでの大分県フェア等を通じ、現地のバイヤー、飲食店等にPRし、販路の拡大に努めているところです。

現在、タイ、シンガポール、香港向け数量は、まだまだ少ない状況ですが、今後さらに拡大していく予定ですので、お見かけの際には本県産の養殖ブリを是非ご賞味ください。



(左写真:自身も参加したシンガポールでの商談会)
(右写真:販売した養殖ブリフィレ)



県内ニュース(11月)

【大分合同新聞社HPにリンク】

<http://www.oita-press.co.jp/>

- ・11年度再生エネ「供給量」「自給率」2冠
[2013年11月05日]
http://www.oita-press.co.jp/localNews/2013_138361274164.html
- ・四半世紀迎える 剣道を通じた日韓交流
[2013年11月07日]
http://www.oita-press.co.jp/localNews/2013_138378783419.html
- ・城下町、幻想的な空間 竹田竹楽
[2013年11月16日]
http://www.oita-press.co.jp/localNews/2013_138456409578.html
- ・映画カラアゲ☆USA 宇佐でクランクイン
[2013年11月20日]
http://www.oita-press.co.jp/localNews/2013_138492534622.html
- ・おんせん県へようこそ 空港ビルでPR強化
[2013年11月23日]
http://www.oita-press.co.jp/localNews/2013_138516273242.html
- ・被災の比支援へ 各国の学生らが募金活動
[2013年11月25日]
http://www.oita-press.co.jp/localNews/2013_138535790996.html
- ・香港ですしの握り再び実演 佐伯市「丹匠」
[2013年11月26日]
http://www.oita-press.co.jp/localNews/2013_138542842576.html
- ・「こうじ」世界進出第一歩 佐伯市糴屋本店
[2013年11月26日]
http://www.oita-press.co.jp/localNews/2013_138542659416.html
- ・地熱発電で協力を モンゴルが知事に要請
[2013年11月27日]
http://www.oita-press.co.jp/localNews/2013_138551397069.html
- ・世界4連覇 日本文理大チアリーディング部
[2013年11月27日]
http://www.oita-press.co.jp/localNews/2013_1385530311.html
- ・「かぼすブリ」と「かぼすヒラメ」
[2013年11月30日]
http://www.oita-press.co.jp/localNews/2013_138557691425.html

世界に広がる OITA ネットワーク

ペルー大分県人会 杉丸様が来庁されました

11月18日(月)、ペルー大分県人会の前会長 杉丸様が来庁されました。津久見市のご出身で、今回はご帰郷の機会に合わせて国際政策課へお寄りくださいました。

1970年からの43年をペルーでお過ごしになられた杉丸様から、県人会近況等をお伺いいたしました。現在、ペルー大分県人会は約80人が登録し、温かな絆をもって月例の懇親会や年数回の行事に参加されているということでした。



(写真)杉丸前会長(右)と国際政策課長



(写真)ペルー大分県人会懇親行事の様子

商工労働部商業・サービス業振興課の藤原と申します。



商業・サービス業振興課
主査 藤原 由博



楚河漢街(無印良品やユニクロが入居)

現在、県は中国湖北省と交流を進めており、私はその事業の一環として、この9月から省都武漢市の武漢大学に留学しています。若い外国人学生に交じり、みっちり中国語を勉強していますが、その傍ら現地の日系企業等を訪問し、情報収集や意見交換を行っています。

湖北省は面積、人口ともに日本のほぼ半分で、内陸の大きな省です。日本からはホンダ、日産とその関連部品メーカーを中心とした製造業が進出しています。中でも目覚ましい発展を遂げている武漢市では、近年、製造業以外にも、その市場性に注目し、無印良品やユニクロといったサービス業が進出しており、来年の冬頃にはイオンモールがオープンする予定です。

県からも製造業、サービス業の分野で湖北省に進出している企業があります。この大きな省の中で県ができることは何なのか、企業の皆様の意見を伺いながら考える毎日です。

【連絡先】 fujiwara-yoshihiro@pref.oita.lg.jp

訪日教育旅行に伴う学校交流の推進

～ 国際政策課 ～

経済・社会のグローバル化が進展するなか、国際社会に対応できる若年層の育成が急務となっています。

県では、県内の児童・生徒が外国の子ども達と直接触れ合い、外国語や異文化に対する興味・感心を開く貴重な機会となることから、訪日教育旅行に伴う学校交流の受入れを推進しています。

皆さまの国・地域の学校・旅行業関係の皆さまに、大分県での学校交流をお勧めいただければ幸いです。

(写真) 県内小中高校での学校交流の様子



【大分県 学校交流申込みHP】

<http://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/schoolexcursions-application.html>

中国湖北省研修員の李新華さんが帰国

～ 国際政策課 ～

県と湖北省との人的交流の一環として、県内で観光分野の研修を受けていた李新華さんが、全ての研修日程を終え、11月24日(日)に帰国されました。今後は、県の「めじろん海外特派員」として、両地域交流の架け橋としてご活躍いただきます。

【氏 名】 李新華(り・しんか/Ms. LI XINHUA)

【研修期間】 2013年5月19日～2013年11月24日

【勤務先】 湖北省恩施土家族苗族自治州旅遊委員会

(電話)0718-8221988 (Web) www.esly.gov.cn

【連絡先】 272045229@qq.com



中国湖北省研修員の李新華です。大分県の皆様には、半年間大変お世話になりました。無事に全ての研修日程を終えて湖北省に戻りました。

日本一の温泉など、大分県はとても魅力的な地域でした。ここで学んだことと知り合った方々との絆を活かして、今後も湖北省と大分県の架け橋になりたいと思っています。どうもありがとうございました。そして、これからもよろしくお願いします!



県の国際交流員等が、旬なOITA情報をお届けします。



林 泰男
(Taenam Lim)
県国際交流員
韓国(ソウル)
pu101502@pref.oita.jp

約50年近くにわたり、大分県を代表する文化施設の一つとして親しまれた大分文化会館がその歴史に幕を閉じることになりました。大分市中心部の大分城址公園内に建てられた大分文化会館は1966年10月の開館以来、県内の様々なイベントの会場として活用されてきました。しかし老朽化や総合文化センター・ホルトホール大分など新しい施設のオープンなどにより利用者数が減少したことから、2013年10月の閉館が決まりました。10月31日に行われた最後の公演には2千人規模のホールが観客でいっぱいになり、市民みんなで見物を楽しみました。建物は2014年1月から解体を始めることになり、大ホールを飾っていた高山辰雄の絵を基にした緞帳(どんちょう)は湯布院に新しくオープンする観光施設への展示が決まりました。



ニコール・フリン
(Nicole Flynn)
県国際交流員
オーストラリア(QLD)
pu101503@pref.oita.jp

11月15・17日に豊後高田市にて川渡し神事「裸祭り」という秋季大祭が行われました。私は何年間も日本に暮らしていますが、このような祭りは初めて行きました。豊後高田市にある若宮八幡神社の伝統行事の1つです。一日目(金曜日の夜)に神社からお旅所まで、お神輿が運ばれます。地元の何十人も男の人が参加し、陸組と川組があります。まずは陸組がお神輿を川に担いでいって、川組に交代します。川組が川に入ってお神輿を運びながら川を渡ります。日曜日の夜の行事の流れは逆です。この行事の間、川の中に高さ約16メートルの大松明が灯されます。どうやって大松明に火をつけるかというと、御玉橋に射手が立って火矢を射て、火をつけます。豊後高田出身の日本人の友達に歴史的な背景を教えてもらって、とても面白かったです。



趙 敏
(Zhao Min)
県国際交流員
中国(湖北省)
pu101501@pref.oita.jp

11月5日、台湾・宜蘭高級商業職業高校の生徒さん36名が別府市立商業高校を訪問されました。午前10時から午後3時まで5時間の交流をして、私は通訳を担当しました。両地方の生徒さんはみんな輝いて活発で、とても素晴らしい交流会でした。台湾の生徒さんは別府商業学校の吹奏楽部の演奏や皆様の盛大な歓迎にたいへん感動していました。別府の生徒さんは「初めて海外の生徒さんと交流をして、このような交流は本当に良かったです。有難うございました」と仰っていました。みんな楽しく有意義な時間を過ごして、本当に良かったです。言葉が違っても、お互いに気持ちが通じたと感じました。国際交流員の業務を通じて、人と人、国と国の交流は非常に大切だと強く思うようになりました。交流があるからこそ、お互いに理解し合おうと思います。今の中日関係は大変難しい時ですが、お互いにもっと交流し、心を開き、両国の皆様のよりよい未来を目指して頑張っていきたいと思います。



話題沸騰おんせん県おおいた

何かと話題のクルーズトレイン「ななつ星in九州」の運行が10月15日から始まりました。車内で生けられているオリジナルのバラ「Red Seven Stars」は大分のメルヘンローズさんが生産しています。また、車内では大分の有名旅館などのグルメをお楽しみいただけます。日本国内からは、高倍率のためなかなか乗車できない「ななつ星」ですが、海外からは比較的申し込みやすいようです。ひと味違った陸のクルーズはいかがですか？
【ななつ星in九州 HP】<http://www.cruisetrain-sevenstars.jp/>



【観光・地域振興課からのお知らせ】
担当:国際観光班 磯崎 香織
連絡先: isozaki-kaori@pref.oita.lg.jp
HP: <http://www.pref.oita.jp/site/tourism/>
facebook: <http://p.tl/RBAa>



日本一のおんせん県おおいた 鳴りも満開

なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～ 【大分市／別府市】



(大分市)
大分城址公園・府内城跡



(大分市)
大分国際車いすマラソン大会



(別府市)
シンボリック的存在 竹瓦温泉



(別府市)
花菖蒲が美しい神楽女湖

話題提供のお願い!

県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください!(様式は任意です)

【記事提供先／お問い合わせ先】
国際政策課 担当:猿渡(さるわたり)
【Mail】 a10140@pref.oita.lg.jp

